

TE-W70NSシリーズ 取付マニュアル

TE-W70NS シリーズ (以降本製品と記述) の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

危険

マニュアル車へ取り付けることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れて駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。



特種用途自動車



- マニュアル車には、取り付けできません。
- 特種用途自動車には、取り付けできません。
- 年間を通じ、始動操作をして2秒程度でエンジンのかからない車には、取り付けできません。

注意 本製品およびオプション・アダプター類の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。

注意 配線作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

注意 あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

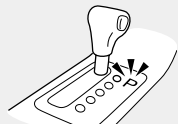
付属品一覧

・リモコン	1個	・NS1ハーネス	1個	・NS3ハーネス	1個
・本体 (メインユニット) 1個		・NS2ハーネス	1個	・ワンタッチコネクタ	1個
				・危険シール	1枚
				・結束バンド (大)	1本
				・結束バンド (小)	3本

配線のしかた

注意 本体の取り付け前に、車両バッテリーのマイナス端子を外して3分ほどお待ちください。

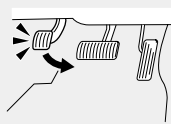
1 車両が次の状態になっていることを確認します。



セレクタレバーがパーキング (Pレンジ) に入っている



(サイド式) パーキングブレーキがかかけられている



(フット式)



エンジンスイッチがOFFになっている



バッテリーのマイナス端子が外されている

2 本体の取り付け位置を仮決めします。取り付け位置は、車種別ピットマニュアルを参照してください。

参考 まだ固定しないでください。

- メモ 場所決めのポイント
- ・しっかり固定できますか?
 - ・各ハーネスの長さは足りませんか?
 - ・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか?
 - ・本体のアンテナ部分が車両の金属部分 (ボディやコード類など) から5cm以上、離れていますか? (ETC、レーダー探知機、ナビゲーション機器のアンテナからはできるだけ離してください。)

3 NS1ハーネスのアースコードを、車両の金属部分で固定している無塗装のボルトに共締めします。

注意 アースが不完全だと動作不良の恐れがあります。アースは正しく取り付けてください。

注意 オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。機器が誤動作したり、オーディオのメモリーが消失したりする恐れがあります。

4 車両のボディコントロールモジュールの15Pコネクタを抜き、本製品のNS1ハーネスを間に割り込ませるようにして接続します。

メモ ボディコントロールモジュールには15Pコネクタが2つあります。配線場所は車種によって異なりますので、車種別ピットマニュアルを参照してください。

5 車両のステアリングロックユニットの8Pコネクタを抜き、本製品のNS3ハーネスを間に割り込ませるようにして接続します。

メモ 配線場所は車種によって異なりますので、車種別ピットマニュアルを参照してください。

6 車両のオプションコネクタの2Pコネクタに、本製品のNS3ハーネスをしっかりと接続します。

メモ 配線場所は車種によって異なりますので、車種別ピットマニュアルを参照してください。

7 車両のボディコントロールモジュールの白色40Pコネクタを抜き、本製品のNS2ハーネスを間に割り込ませるようにして接続します。

メモ 配線場所は車種によって異なりますので、車種別ピットマニュアルを参照してください。

8 付属のワンタッチコネクタを使ってA/C制御コードを、車両のボディコントロールモジュールへしっかりと接続します。

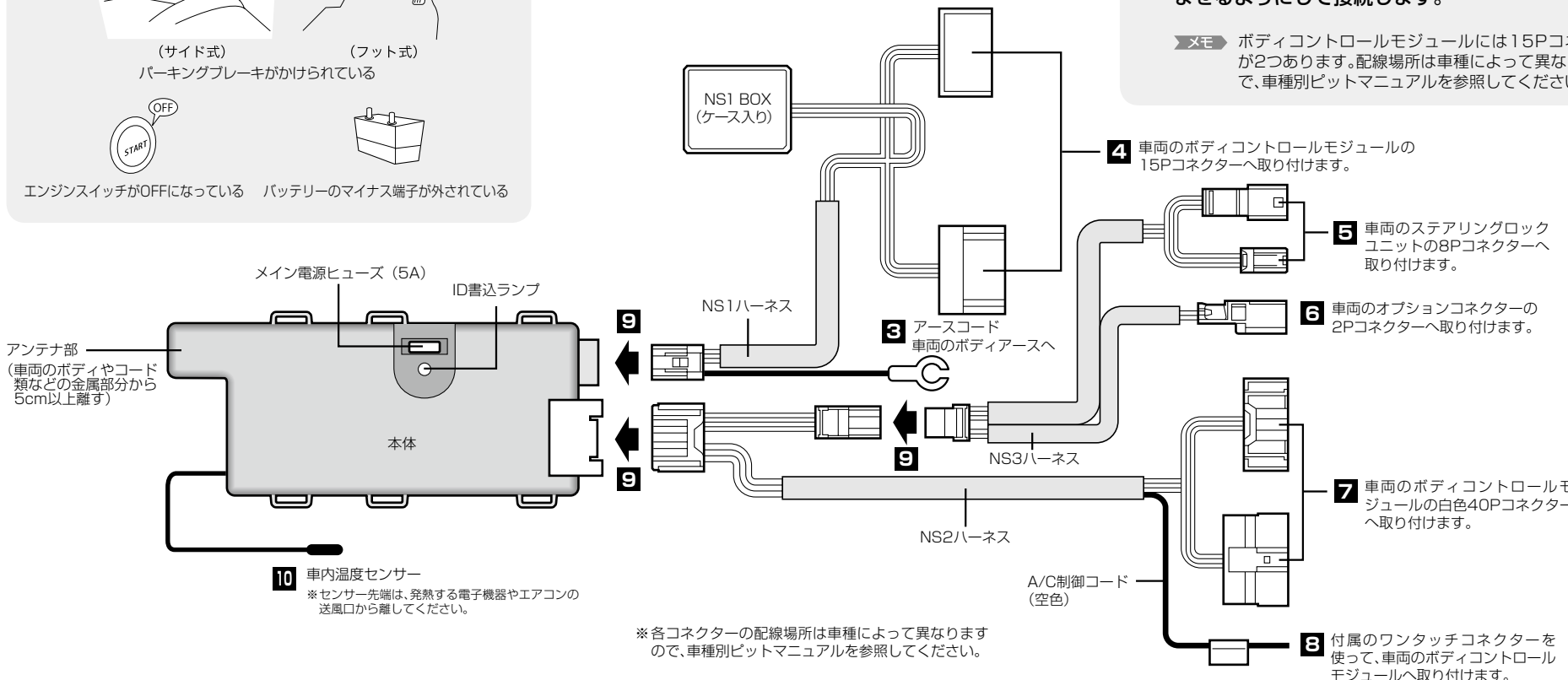
メモ ワンタッチコネクタの取り付け方法は、裏面「ワンタッチコネクタの使いかた」をご覧ください。配線場所は車種によって異なりますので、車種別ピットマニュアルを参照してください。

メモ 配線場所は車種によって異なりますので、車種別ピットマニュアルを参照してください。

9 接続図に従って、3~8で車両に接続したNS1ハーネスおよびNS2ハーネスを本体に、NS3ハーネスをNS2ハーネスにしっかりと接続します。

メモ コネクタが固くなっています。カチッと音がするまで差し込んでください。

10 車内温度センサーを固定します。車内温度センサー先端のセンサー部を、発熱する電子機器やエアコンの通風口から離して設置します。



※各コネクタの配線場所は車種によって異なりますので、車種別ピットマニュアルを参照してください。

ハーネスの取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。

動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。

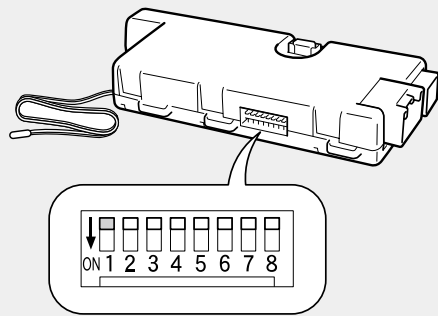
1 初期設定を行い、動作を確認します。

- すべての配線が完了した状態で、車両のバッテリーを接続します。
- 本体のID書込ランプが約1秒間隔で点滅していることを確認してください。
LEDが常に点灯している場合
・本体の設定スイッチ8がONになっていないか確認してください。
LEDが点滅しない場合
・NS1ハーネスを本体から一旦引抜き、15秒以上経過後、再び本体に接続してください。接続してもLEDが点滅しない場合は、各配線の接続を確認してください。
注意 各ハーネスを接続し直す場合は、車両バッテリーのマイナス端子を外し、約3分程経過してから接続し直してください。
- 純正のインテリジェントキーを車内に持ち込み、ドアを一旦閉め、車両本来の方法（エンジンスイッチ）でエンジンを始動すると、イモビライザーの通信データを本体に読み込みます。
読み込みが完了するとID書込ランプが3回点滅した後、消灯します。
- エンジンを切りドアを閉め、純正のインテリジェントキーを車から離れた場所へ移動させた後、リモコンでエンジンスタートの操作を行い、エンジンが正常に始動するか確認してください。
※ エンジンスイッチがACC、イグニッションONの状態ではリモコンでエンジンが始動できません。
エンジンスターター使用の際にはエンジンスイッチをOFFの状態にしておいてください。
メモ エンジンがかからないときは、取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しないとき」を参照して対処してください。

2 パーキングブレーキ検出が必要な場合は、2の作業を行ってください。

メモ 寒冷地などでパーキング（サイド）ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

2 設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する（下側）」にします。



●パーキングブレーキ検出設定

スイッチ1	パーキングブレーキ検出
OFF	検出しない（標準設定）
ON	検出する

■は工場出荷時設定です。

3 車両のパワーウィンドウの自動開閉操作が正常に動作しない場合、オートバックドアやオートスライドドアが動かない場合は、初期設定を行ってください。

メモ 初期設定の方法は、車両の取扱説明書を参照してください。

4 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

5 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。



これで本体の取り付けと設定は完了です。

参考

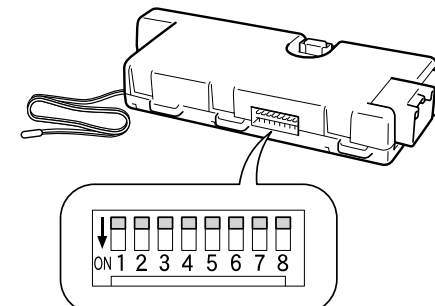
車種別ビットマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。ビットマニュアルの参照方法は、店頭の商品別ハーネス適合表をご覧ください。ただし、ビットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ワンタッチコネクターの使いかた

- 本製品のコードを差し込む
- 車体側のコードを通す
- プライヤーなどで金具を押し込む
- カバーをして絶縁テープを巻く

設定スイッチについて

参考 設定スイッチ2～7は使用しません。設定スイッチ8はリモコンのIDを本体に登録する際に使用します。詳しくは取扱説明書の「リモコンのID再登録」を参照してください。



設定スイッチ（標準設定）

スイッチ番号	設定項目
1	パーキングブレーキ検出の設定
2	(使用しません)
3	(使用しません)
4	(使用しません)
5	(使用しません)
6	(使用しません)
7	(使用しません)
8	ID書込

取り付けに関するお問い合わせ先
カーメイトサービスセンター
Tel:(03)5926-1216(代表)
Fax:(03)5926-1218